

研究・調査報告書

報告書番号	担当
281	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名（原題／訳）	
Alcohol and cancer: a position statement from Cancer Council Australia. アルコールと癌：Cancer Council Australia による声明	
執筆者	
Winstanley MH, Pratt IS, Chapman K, Griffin HJ, Croager EJ, Olver IN, Sinclair C, Slevin TJ.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
Med J Aust. 2011 May 2;194(9):479-82.	
キーワード	
アルコール, 癌, 喫煙	
要 旨	
<p>The Cancer Council Australia (CCA)のアルコールワーキンググループはアルコール使用と癌についての声明を作成した。声明は、外部の専門家によりレビューされ、CCA 委員会により推奨された。</p> <p>アルコール使用は癌の原因である。いかなるレベルのアルコール摂取もアルコール関連の癌の発生リスクを上昇させ、リスクのレベルは摂取水準により増加する。オーストラリアにおける年間の癌の 5070 例（もしくは全癌の 5%）は長期間の慢性的なアルコール摂取に起因すると推測される。同様に、喫煙とアルコールは癌のリスクに相乗作用があり、これらの複合使用によるリスクは、それぞれ単独使用によるリスクよりも著しく大きい。</p> <p>アルコール使用は体重（脂肪）増加に寄与するかもしれない、肥満は食道、膵臓、腸、子宮内膜、腎臓および胸（閉経後の女性）の癌の確証的な原因である。少量または中等度の飲酒者における心疾患の減少がアルコールによるものであるという以前された報告は過大評価のようにみえるので、冠動脈心疾患の予防のためにアルコール摂取の促進はおこなわない。</p> <p>CCA は癌の危険を減らすために、人々がアルコール摂取を制限、いっそのこと禁酒することを推奨する。アルコールを飲むことにした個人のために、CCA は国立保健医療研究評議会のガイドラインの範囲内で飲むことを推奨する。</p>	